

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 2 月 9 日 (17:30 ~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 中島・平野・高橋・川西・久保・西村・岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6	1	1	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	5	2	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	4	3	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	3	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

一対一でのかかわりを持つ機会も多く、その際に本人の話聞いて気持ちを理解しようと努めている。ミーティングだけでなく日常的に職員間での情報交換をし、一人一人の利用者に合わせた対応を心掛けている。新規利用については短時間利用から始めたり、訪問したりする等して無理なく馴染んでもらえるよう配慮している。家族とは送迎時に話をするなどかかわりを持ち、思いや意向を知るようにしている。在宅での暮らしを継続することを目標に、計画の作成、サービスの提供を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族とのかかわりが一部の職員に限られており、全職員に思いがしっかり伝わっていないことがある。しかし、家族の思いや日々の悩みを聞くと、どうしても家族中心にサービスを計画してしまいがちになってしまう。日々の業務に追われ、本人の思いをきちんと把握できていなかったり情報不足なこともあり、本人が望む暮らしやニーズが把握しきれていないところがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

職員一人一人が情報収集に努め、職員間での情報共有をミーティングだけでなく日常的に行う。どうしても話し合う利用者が特定されてしまいがちなので、ミーティングで計画的に一人一人について検討する機会を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 2 月 9 日 (17:30 ~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 中島・平野・高橋・川西・久保・西村・岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	2	3	2	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	3	2	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	4	2	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	1	2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人の「～したい」を見つけ、理解するため、日常のかかわりの中で思いを聴くよう努めている。ミーティングで本人とかかわったことを伝え、そのことを情報として共有するようにしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>日課をこなそうとするあまり個別対応できない日がある。自然に決まってしまった一日の流れに沿って業務をこなすことに追われたり、送迎時間や記録入力時間を気にしたり等、職員に余裕がない。職員の動き中心になってしまい、本人の思いが後回しになってしまうことがある。自分たちが見て把握している事だけで判断し、視点を変えて見ることができていない。介護計画屋目標の把握がしっかりとできていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>本人がしたいことを知るために、個別にかかわる時間を持つ。そのためには業務遂行を第一に考えるのではなく、本人とのかかわりを多く持って気持ちを知る努力をする。本人の言葉だけでなく表情や動作もしっかりと観察し、「～したい」という気持ちを理解していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 2 月 9 日 (17:30 ~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 中島・平野・高橋・川西・久保・西村・岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	7	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	6	1	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	2	1	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	5	3	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	4	4	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>できることはしてもらい、できないことだけ手伝うように心がけている。その日の体調や気分について職員間で共有し、体調や気分に合わせて過ごしてもらおうようにしている。ミーティングでは日々のかかわりの中で感じた本人の気持ちを伝えている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者の言葉だけで判断してしまいがちなところがある。また、一つの場面だけで本人のすべてを決めてしまいがちなところがある。どうしても職員の主観が入ってしまいがちなので、本人の気持ちが把握しきれていない。できることとできないことの把握ができていない。日課や時間を気にしてできることも手伝ってしまいがちである。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>できることとできないことを把握するため日常的に観察し、ミーティングで話し合い共有する。できることはしてもらおうことを職員一人一人が意識し、日課中心の介護から本人の自立支援中心の介護に変える。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 2 月 9 日 (17:30 ~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中島・平野・高橋・川西・久保・西村・岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	3	2	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	3	5	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	1	5	2	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	6	1	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>家族が本人に対して拒否的にならないように、送迎時などに本人の様子や思いを伝えたり、家族の気持ちを受け止めるよう努力している。訪問回数が増え、自宅での暮らしの支援ができるようになってきた。独居の方は近隣住民や民生委員の協力を得て在宅での暮らしを継続することができている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>今までの暮らしや人間関係が把握しきれていない。独居、昼間独居の場合は訪問して安否確認を行っているが、一日のうちの本の一部しか支えることができていない。そのため、どうしても通所中心になってしまう。在宅での暮らしを支えるための地域の資源が把握できていないこともあり、活用しきれていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>一人一人の今までの暮らしや人間関係、現在どのように自宅で過ごしているかの把握に努め、職員間で共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 2 月 9 日 (17:30 ~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中島・平野・高橋・川西・久保・西村・岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	5	0	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	5	1	0	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	5	1	0	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6	1	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者の変化に気づいたときに伝えたりミーティングで共有している。日々、利用者の様子を記録し、ニーズを把握するようにしている。家族の急な用事や体調不調の際にサービスを追加し、即対応している。独居の利用者については近隣住民や民生委員との連携をはかっている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人より家族の都合で利用回数が増えてしまうことがある。職員が問題と感ずることについての情報交換は頻回になる、目立たない利用者についての情報交換が少なくなってしまう。地域の資源など活用できるものについて知らないことが多く、自分たちの事業所だけで抱え込んでしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>事業所だけで支援するのではなく、本人の力、家族の介護力をもっと活用することを家族と話し合う機会を持つ。地域の中に活用できるものはないか、知るよう努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 2 月 9 日 (17:30 ~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 中島・平野・高橋・川西・久保・西村・岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	0	3	0	3
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	2	1	4
②	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	5	1	1	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	6	3	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の文化祭への参加、近隣保育所、幼稚園、小学校との交流、日赤奉仕団の定期的訪問や他のボランティアグループの訪問交流がある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
町のケアマネ連絡会の参加、サービス担当者会議の開催が頻回にできていない。他事業所との情報交換は電話で行うことが多い。地域行事についても文化祭のみで、他のイベント参加や地域に貢献できるような活動等ができていない。職員が自分の地域の行事に参加するときに事業所や利用者個人のことを聞かれたりするため、参加しづらい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事業所として参加できる活動やイベントを知る。事業所として地域に貢献できることはないか検討する。日々の業務に追われるのではなく、職員一人ひとりが広い視野を持って地域との連携や協働について考える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 2 月 9 日 (17:30 ~18:30)

7. 運営

メンバー 中島・平野・高橋・川西・久保・西村・岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	4	2	1	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6		0	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	2	1	6
③	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	4	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者や家族の声に耳を傾け、報告や話し合いにつなげるよう努めている。事業所に対する苦情や意見は事業所全体の課題として話し合っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域住民とのかかわりが少なく意見を聞く場が持っていないため、意見が把握できていない。地域と協働した取り組みの具体化について検討できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域住民との交流の場としてサロンやイベントの開催など具体化に向けて検討する。地域における小規模多機能事業所の役割を職員が理解を深められるよう話し合う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 2 月 9 日 (17:30 ~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中島・平野・高橋・川西・久保・西村・岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	4	1	0	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	0	4	0	6
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	2	4
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	1	3	1	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
月 2 回の職場内研修を実施している。日頃起こった事故やヒヤリハットについて話し合い、危険防止に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部研修への参加する機会があまりない。スキルアップのための研修に自主的に参加できていない。地域と話し合う場が持っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
スキルアップのための情報を周知し、職員一人ひとりがスキルアップできる環境を整える。地域連絡会等への参加について検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 2 月 9 日 (17:30 ~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 中島・平野・高橋・川西・久保・西村・岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3	4	0	0	7
②	虐待は行われていない	4	3	0	0	7
③	プライバシーが守られている	1	5	1	0	7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	0	3	0	4
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	3	1	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>周囲の人を大切に思うことを常に意識してかわわり、一人ひとりの気持ちを大切にするように努めている。見守り等気を配っている。身体拘束が必要な場合も代替案の検討をし、拘束しないようにしている。事業所内で知り得た情報は外部に漏らさないように気をつけている。個人情報は鍵付ロッカーに保管している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>身体拘束や虐待についての研修の回数が少なく、職員全員で共通理解できていないところがある。利用者の尊厳を守る介護をめざしているが、職員の段取りや手間を優先してしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>身体拘束、虐待防止、プライバシーの保護についての研修を年 1 回は実施し、全職員が共通理解のもと、個人が尊重される支援をする。</p>	